

平成 17 年 10 月 31 日

各 位

住 所 大阪府吹田市春日 3 丁目 20 番 8 号
会 社 名 グリーンホスピタルサプライ株式会社
代 表 者 の 代 表 取 締 役 社 長 古 川 國 久
役 職 氏 名 (コード番号：3360 東証第二部)
問 い 合 わ せ 先 取 締 役 常 務 執 行 役 員 黒 田 敏 史
管 理 本 部 長
電 話 番 号 0 6 - 6 3 6 9 - 0 1 3 0

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向を踏まえ、平成 17 年 5 月 17 日の決算発表時に公表しました平成 18 年 3 月期（平成 17 年 4 月 1 日～平成 18 年 3 月 31 日）の業績予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 18 年 3 月期連結中間期業績予想数値の修正（平成 17 年 4 月 1 日～平成 17 年 9 月 30 日）
（単位：百万円）

連結中間期業績予想	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	21,000	720	460
今回修正予想(B)	22,000	800	500
増減額(B-A)	1,000	80	40
増減率(%)	4.7	11.1	8.6
前期実績 (平成 17 年 3 月期中間)	18,640	480	224

2. 平成 18 年 3 月期個別中間期業績予想数値の修正（平成 17 年 4 月 1 日～平成 17 年 9 月 30 日）
（単位：百万円）

個別中間期業績予想	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	12,000	490	280
今回修正予想(B)	13,380	490	290
増減額(B-A)	1,380	-	10
増減率(%)	11.5	-	3.5
前期実績 (平成 17 年 3 月期中間)	10,950	376	184

3. 平成 18 年 3 月期連結通期業績予想数値の修正（平成 17 年 4 月 1 日～平成 18 年 3 月 31 日）
（単位：百万円）

連結通期業績予想	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A）	57,000	2,770	1,630
今回修正予想（B）	60,000	3,000	1,630
増減額（B - A）	3,000	230	-
増減率（%）	5.2	8.3	-
前期実績 （平成 17 年 3 月期）	52,860	2,515	1,305

4. 平成 18 年 3 月期個別通期業績予想数値の修正（平成 17 年 4 月 1 日～平成 18 年 3 月 31 日）
（単位：百万円）

個別通期業績予想	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A）	36,000	1,890	1,100
今回修正予想（B）	39,500	2,500	1,370
増減額（B - A）	3,500	610	270
増減率（%）	9.7	32.2	24.5
前期実績 （平成 17 年 3 月期）	33,420	1,751	990

5. 修正理由

(1) 中間期業績

連結業績

売上高は、個別業績の売上高増加が主に寄与し、当中間期売上増加を見込んでおります。

経常利益については、当社子会社において病院再生ビジネスの中でも病院 M & A 案件を当中間期に新規に 2 件成約し業務の完了をみたことによりコンサルタント収益が当初予定より増加した結果、経常利益増加を見込んでおります。

個別業績

売上高の増加を見込む要因は、プロジェクト案件対象外であった民間の新規 PET 健診センターの関連機器の一括受注の成功と大型放射線機器の中で現在の旬の商品となっている PET / CT の既存得意先への拡販によるものであります。

経常利益は、首都圏地域でのプロジェクト案件の利益額が当初予定を下回るとともに、メディカルサプライ事業における SPD システム販売の運営合理化によるコスト削減と利益率向上の効果が当中間期では目標に達していないことによる減益分を病院再生ビジネス関連のコンサルタント収益でカバーし、当初予定通りの経常利益を確保する見込みであります。

(2) 通期業績

連結業績

売上高は、当社和歌山地域の販売子会社及び循環器領域専門販売子会社において当初予定売上高に対して減少が見込まれる等の減収要因がある一方、当社個別業績の売上高増加が主に寄与し、通期売上増加を見込んでおります。

経常利益については、当初当社子会社において病院再生ビジネスとして予定していた案件が大型の病院再生となったため、当社にて直接関連ビジネスを行うこととなり、当社個別業績が大幅な増益の見込みとなっております。このため、連結業績においては、当社子会社が当初予定していた収益以上のコンサルタント収益を当社において確保できる見込みとなった増益分が、主な増益要因となる見込みであります。

個別業績

売上高は、下期に集中するプロジェクト案件の個別売上高の増加を確保できる見込みから売上高増加を見込んでおります。

経常利益については、売上高増加による増益分と当中間期より進めてまいりました大型の病院再生ビジネス案件のクロージングによるコンサルタント収益を見込み大幅な増益を見込んでおります。

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上